

全農杯 2025 年 全日本卓球選手権大会ホープス・カブ・バンビの部 青森県予選会 競 技 上 の 注 意 等

審判長 木村 茂

競技ルールは現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. 試合方法

- (1) 試合は、1ゲーム11ポイント、5ゲームマッチで行う。

試合前の練習は、1分以内とする。

- (2) タイムアウト制は適用しないが代表決定戦より適用する。

- (3) バンビのみ高さ66センチメートルの卓球台を使用する。

2. 使用球

全ての種目においてバタフライスリースターボール R40+のみを使用する。

3. ラケット・ラバー等について

- (1) 粒高ラバー及びアンチ系ラバーの使用制限はない。

- (2) ラバーは、ITTF. または JTTA が公認したものでなければならない。

- (3) 接着剤を含むラバーの厚さが4.0mmを超えるもの、また表面の平坦性が失われているものは使用することはできない。

- (4) ラバーは、縁が摩耗していたり、ラケット本体より大きかったり、小さかったりしないこと。

4. 服装について

- (1) ゼッケンは2025年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること

- (2) 競技用服装のうち半袖シャツ、ショーツまたはスカートは、JTTA のワッペンが付いたものを着用すること。※袖、襟を除く、全面・背面に白が含まれているものは、審判長判断による。

5. 休憩について

- (1) ゲームとゲームの間の休憩は1分以内。

- (2) タオルの使用は6本ごと及び、最終ゲームのエンド交替時にのみ認められる。ただし、眼鏡に付いた汗等を拭くときはこの限りでない。

6. アドバイス等について

- (1) アドバイザーのベンチ入りは、1回戦より1人を認める。複数台の掛け持ちは2台までとする。

- (2) 試合前の練習後、第1ゲーム開始前にはアドバイスを受けることはできない。

- (3) ゲーム中のアドバイス（ジェスチャーによるものも含む）は一切禁止されている。

7. 審判について

バンビ種目を除き敗者審判で行うが、第1試合の審判はプログラムの選手No.に□印が付いた選手に協力をお願いします。

8. 試合は、プログラムのタイムテーブルに従って進行しますので、放送による呼び出しありません。

出場選手はタイムテーブルを確認し、前の試合が終わり次第、指定コートに入ってください。

9. 試合終了後、相手選手に敬意を払いながら握手をするのがスポーツmanshipですので、ハイタッチではなくしっかりと相手の目を見て握手しましょう。

全国大会代表数 ホープス・カブ・バンビ 男女各6名

全国大会日程 令和7年7月25日（金）～27日（日）

神戸総合運動公園体育館（グリーンアリーナ神戸）

〒654-0163 兵庫県神戸市須磨区緑台 TEL 078-796-1155